

JAMP information

「巡回アカデミー」(岐阜県研修) の実施について

市町村アカデミーでは、様々な事情によって千葉の本学での研修受講が困難な地域の要請等により、当該地域に赴き、高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を平成27年度より年度内に

2回実施しており、令和6年度については、応募多数につき3回実施いたしました。



OKBふれあい会館概観

令和6年度は、第1回目を8月に兵庫県神戸市で、第2回目を10月に熊本県熊本市で開催し、第3回目を1月15日（水）から17日（木）までの3日間の日程で、岐阜県恵那市にあるOKBふれあい会館において、岐阜県市町村振興協会市町村研修センターとの共催で、「行政のデジタル化の推進・ナッジ等を活用した政策イノベーション」の研修を行いました。

15日（水）は開講式の後、総務省自治行政局行政経営支援室長の君塚明宏氏から「デジタル社会の実現に係る国の動向」と題して、ご講義をいただきました。研修生からは、「国の動向や方針を知ることができてよかったです」、「DXの考え方は、大昔からあり、変わらない概念であることを知った」などの感想が寄せられました。



講義の様子



開講式

次に、「行政デジタル化の意義と課題」と題して、東海大学政治経済学部教授の小林隆氏から、なぜ、行政のデジタル化が必要なのか、職場のデジタル化、サービスのデジタル化などについてご講義をいただきました。研修生からは、「デジタル化することが仕事ではなく、デジタル化により、本来やるべき仕事に集中することが重要である」、「DXを推進するためのマインドアップにつながった」などの感想が寄せられました。

1日目の最後には、「デジタル化の推進に向けたナッジの実践」と題して、特定非営利活動法人Policy Garageの竹森庸陽氏から、ナッジの政策への活用に向けて、その手順やポイントとなる行動プロセスマップの作成などについてご講義をいただきました。研修生からは、「ナッジ手法について、漠然と認識していたが、具体的な事例を踏まえたグループワークなどにより、理解が深まった」などの感想が寄せられました。

16日（木）は、株式会社サン・プランニング・システムズの鈴木裕氏から「BPMN研修・業務改善ワークショップ」と題して、ご講義及び演習指導をいただきました。研修生が実際に自らの業務についてBPMN業務フローを作成する実習を行い、「BPMNを用いて業務プロセスの見える化がされ、問題の内在的な部分を深く考えることができた」などの感想が寄せられました。



実習の様子

17日（金）は、前日に引き続き「BPMN研修・業務改善ワークショップ」として、グループワークを中心にご指導いただきました。研修生からは、「業務フローを可視化し、共通の資料を見ながら行うことで、業務の課題点や改善点を具体的にイメージしながら、取り組むことができた」などの感想が寄せられました。

次に、事例紹介として、埼玉県吉川市総務部庶務課情報管理担当主査の伊藤裕亮氏から「デジタル化と住民サービス向上の取組み」と題して、ご講義をいただきました。研修生からは、「業務プロセスの作成までの苦労等、生の声を聴けたので大変参考になった」などの感想が寄せられました。



発表の様子

引き続き、「課題演習（討議・発表・講評）」と題して、研修生が準備した政策分野の現状や指標を基に、今回のBPMN業務フローを使用しながら班ごとに課題解決策について討議・発表を行い、鈴木裕氏よりご講評をいただきました。研修生からは、「一つの業務をここまで深掘りして考えることがなかったので、貴重な経験をすることができた」、「発表の形でアウトプットすることで、研修内容の理解がより深まった」などの感想が寄せられました。